

日本銀行
帯広事務所長

松尾 宏展



着任して約3カ月が経過した。私自身、社会人としての30年間で西日本を中心に7回の転勤を経験したほか、出張で全国各地を訪れた。こうした経験を踏まえても十勝はポテンシャルの高い地域だと感じる。

北海道が公表している振興局別総生産を見ると、2012年度からの10年間で、十勝地方は、基幹産業である農業を中心に、食料品製造業、建設業、卸・小

売業、その他サービス業などが比較的バランスよく拡大しており、地域の特長を生かしつつ北海道経済の成長に貢献してきた。

また、十勝地方は道内他地域に比べて人口減少率が小幅に止まっており、2050年までの

減少・少子高齢化が続いているほか、基幹産業である農業の担い手が減少している。この点、既に行政を中心に雇用創出、定住促進、子育て支援など活力ある街づくりに向けた各種取り組みが進んでいるが、当地は自然食材、温泉など全国的にも極めて

には、十勝の魅力を教えてもらいつつ、温かく迎えていただきたい。公共の施設でお会いする方々も親切で優しく、思い掛けない気持ちの良い一言を掛けていただけることも少なくない。こうしたホスピタリティの高さは、当地で暮らす人々にとつて

十勝経済のポテンシャル

将来推計値でも同様の傾向が続く見通しにある。

もちろん課題もある。他地域に比べて緩やかとは言え、人口

日頃口にする食材の新鮮さ・おいしさや生活面の快適さには驚いた。

また、私が着任後に業務を通じてお会いした方々は、みな活気があり、地元愛にあふれている。古い書物を見ると、十勝の人の気質として排他的、閉鎖的という記述がしばしば見られるが、これまでににお会いした方々

も、これから当地の魅力を国内外に発信していくうえでも大きな強みだと感じる。

一方、農業に関しても、IT（情報技術）、AI（人工知能）技術を活用した高度化・効率化や人材育成など、不断の取り組みと考えている。

改めて、今回当地で勤務する機会を得たことを光栄に思う。これから十勝の金融経済動向や課題などについてさまざまな視点で分析し、積極的に情報発信することを通じて、微力ながら当地のさらなる発展に貢献したいと考えている。

まつお・ひろのぶ 1973年佐賀県生まれ。長崎大卒。96年に日本銀行入り。金沢支店営業課長、金融機構局企画役などを経て、前職は同局考査役。大阪や岡山、長崎など西日本での勤務が多く、東京より東の勤務は初めて。休日は妻との十勝巡りを楽しむ。趣味はゴルフ。

かちまい 論壇